

【チーム庄内】 生徒が元気！ 教師が元気！ 学校が元気！

元気通信

〈校訓〉 都城市立庄内中学校
研 鑽 剛 健
敬 愛 学校通信 第20号
令和6年2月16日発行

学校ホームページで情報を先取り！

「元気通信」の内容は、学校HPで随時配信中です。
HPアドレスを入力いただくか、QRコードを読み取ってご覧ください。
写真の枚数も多く、紙よりハッキリ見ることができます！

庄内中HPアドレス⇒⇒⇒ <https://cms.miyazaki-c.ed.jp/4309/>



3学期がスタートしました！

1月9日（火）、3学期の始業式を行いました。令和6年最初となる生徒の登校を、年末にPTAで設置した門松がお出迎え。朝の会の後に20分間の清掃を行いました。令和6年も庄内中生は一生懸命。年末の大清掃できれいになった学校を、時間いっぱい磨き上げていました。

清掃後は、体育館に移動。始業式に先立って3つの表彰状が校納されました。まず、年末に行われた宮崎県アンサンブルコンテストに出場した吹奏楽部の打楽器四重奏と管楽八重奏のメンバー。どちらも金賞を受賞しました。次に男子ソフトテニス部。こちらも年末に行われた宮崎地区近郊冬季ソフトテニス大会で3位に輝きました。受賞した皆さん、おめでとうございます。

表彰に続いて、いよいよ始業式。進行の先生の号令で体育館が緊張感に包まれました。はじめに各学年と生徒会の代表による「新学期の抱負」が発表されました。1年生代表は平野心望さん、2年生代表は岩元蒼奨さん、3年生代表は福元心乃さん、生徒会代表は中野くるみさんでした。4人とも新たな年を迎え、これまでを振り返っての反省に基づいた決意を発表してくれました。大変立派な発表でした。校長先生のお話では、年始早々に発生した令和6年能登半島地震のことにふれながら、3学期も校訓である「研鑽・剛健・敬愛」の視点をもって学校生活を送りましょうと激励の言葉が贈られました。



式の最後は校歌斉唱。今回から指揮と伴奏が2年生にバトンタッチされました。指揮者の蒲生葵彩さん、伴奏者の床次絢音さん、これからよろしくお祈りします。

庄内中の3学期も無事にスタートしました。3学期は学年の仕上げの学期です。次の学年の0学期とも言われます。1年生は先輩としての心構えを身に付け、2年生は志を立て、3年生は進路実現をはかる。それぞれが心新たに3学期を過ごしてほしいと思います。

子どもの声を聞く会

1月25日（木）、庄内地区青少年育成協議会主催の「子どもの声を聞く会」が開催されました。庄内地区の各小学校から6年生代表と庄内中学校1年生と2年生の代表が思い思いに声を聞かせてくれました。本校からは、1年生の中野くるみさんと2年生の多田悠士朗さんが参加しました。



中野さんは『災害から庄内を守るために』というテーマで、「お節介なくらい地域で助け合うことも大切だ」「庄内を

一番被害の少なかった町にしたい」「率先して地域をリードする人になりたい」と発表してくれました。多田さんは、「人は見ようとするものしか見えない」「発表内容を考えるために、自分から見ようとしたことで庄内が前より好きになった」「少しでもこの町の発展につなげることができる人になりたい」と発表してくれました。すべての発表者がスライドを用いてプレゼンテーションしてくれました。タブレット端末を用いた学習の成果と共に庄内の若い芽の発表内容に心強さを感じました。

都城市PTA研究大会&WinterCup結果

1月27日（土）、都城市総合文化ホールにおいて、第63回都城市PTA研究大会が行われました。今年度は、本校が指定研究校の委嘱を受けており、1年間の研究成果を宮島PTA会長が発表しました。研究主題は『家庭や地域の明るい環境づくりをすすめ、子どもの健全な育成を図るPTA活動』。副題を「コロナ禍を乗り越え、PTA活動の再開を通して」として、PTA行事の再開に向けた工夫を発表されました。



また、1月27・28日（土・日）の2日間にわたって小林市文化会館で開催された「第2回吹奏楽コンクール Winter Cup」に吹奏楽部が出場しました。見事「金賞」に輝きました。おめでとうございます。

立志式

2月2日（金）、参観日に合わせて2年生が立志式を行いました。生徒たちは、立志の誓いを考える中で思いの漢字や言葉を選び、記念の色紙を仕上げました。立志の誓いは、2年生全員が色紙を持って一人ずつ力強く発表してくれました。

生徒会の中心が3年生から2年生へと引き継がれ、修学旅行など大きな行事を経験した2年生。堂々と発表する姿に頼もしさを感じました。



式典後には記念講演が行われました。講師は、株式会社ミサワホーム総合研究所の福田真人様にお願しました。演題は「南極クラス」。福田様が第57次南極地域観測隊の越冬隊員として昭和基地に派遣された時の貴重な体験談をスライドと共にユーモアを交えてお話いただきました。

限られた人数しかない昭和基地では、自分の観測や実験以外にも協力し合うことが必要だと話されました。夢を叶えるために努力が必要なことや仲間の大切さなど、たくさんのエピソードから学びの多い講演でした。2年生もこの講演を聴いて「よし！」と更に決意を固めた生徒も多かったのではないのでしょうか。立志式にふさわしい素敵な講演でした。

都城市小・中学生プレゼンコンテスト

2月3日（土）、都城市小・中学生プレゼンコンテストがウエルネス交流プラザで開催されました。動画による一次審査を通過し、本戦に臨んだ庄内中学校は、中学校の部の2番目に発表しました。テーマは「僕たちはどう生きるか」。戸島ナミさん、川上咲希さん、多田悠士朗さん、外山瑠菜さん、蒲生葵彩さんの5名が、ステージ上をいっばいに使ってすばらしい発表をしてくれました。

すべての発表が終わり、緊張の審査結果発表。庄内中学校は、見事「最優秀賞」を受賞しました。おめでとうございます。冬休み返上でがんばった成果です。よくがんばりました。

